

## にこりこー帯にぎわい会議 第9回 会議録

日時 平成29年10月16日(月) 19:00～21:00

場所 箕輪町役場 3階 講堂

参加者(敬称略)

委員 唐澤榮子、唐澤一美、唐澤良忠、黒木一郎、齋藤浩介、  
柴みずほ、柴宮勇一、関幹子、増沢弘久、和田篤士、廣瀬桃子

以上11名

(欠席 鮎澤進二、木下深、栗原勇雄、田中健太、根橋英一、小野路子)

事務局 産業振興課 課長 三井清一、係長 土岐俊、主事 松本兎太郎

傍聴者 3名(白鳥一利副町長、唐澤敏議員、みのわ新聞社)

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 協議事項

(事務局より、提言書の内容説明)

前回の会議を踏まえた提言案を元に、10月13日に小委員会を開催、提言を協議・追加している。今日は協議が終わっていない2点を協議していただきたい。

#### 提言書8ページ「追加して整備するモノ・コトについて」

委員：一帯は直売所は愛来里のころと何も変わらない、進化していない。  
そういうところに不満がある。誘導看板の設置など、本来現場でなく  
経営者がやるべきことが取り組まれてこなかった。

委員：提言書は皆で討議したことがよくまとめであると思う。

#### 提言書10ページ「道の駅の要否について」

委員：非常に迷うが、道の駅にするかしないか、いずれにせよリニューアルして進化させる事は同じ。道の駅にするにしても、国道や県道に接していないために補助金も多くないので、補助金に引きずられることもない。ただし、リニューアルして進化させるには、道の駅レベルにはしないといけない。ブランドとして今一つ、「わん SAKA!」というのは無理があったと思う。道の駅にすれば一つのブランドにはなる。

道の駅という冠は後でつけても良いし、今つけても良い。

それは運営主体の意向もあるが。

委員：道の駅は認定されないといけないのでは。認定の可能性はあるのか。

事務局：もともと、国土交通省から申請をしてはどうかという薦めがあったという経緯から、認定の可能性は高い。

委員：運営主体は非常に重要である。そうすると、あの場所をランド力がある、レベルの高い場所にしていかないと、誰も手を出してくれないと思う。JAに相談している、JAがどういった内容で参画してくれるかも未知数。

事務局：こういった書き方をしたのは、ハード整備の前にやることがあるのではないかという議論が小委員会でもあったから。

委員：道の駅は後付けでいいと思う。賑わって町民がいっぱい来てからでも。

委員：提言としては、道の駅の要否をはっきりさせないといけないのか。

事務局：必ずしも、はっきりさせなければいけないわけではない。

委員：道の駅というのは特別費用がかかるわけでもなく、特別補助があるわけではない。道の駅という冠をいつ付けるのか、という問題。

委員：中身のリニューアルをしないとお客が来ない。運営主体が決まらなないと、どうリニューアルするかも分からない。建物を作ってから、さあやって下さいというやり方はどうなのか。

委員：イオンのような民間でも建物を作ってからテナントを募集している。建物の魅力がしっかりしていないと、テナントはこないのでは。運営主体を変えなければいけないのは分かっているが、ある程度ハード整備をしないと運営者も来ないと思う。

齋藤：道の駅整備に1億円程度かけて、リニューアルにまた経費がかかる。それをどう回収していくのかということまで決めるのか。

委員：我々はそこまで決めない。

事務局：一帯は町で整備した公共施設。農家の所得向上という公益を目的としており、公益をいくらか、という算定もなかったもので、いくら投資して回収するという発想は元々なかった。民間だったらいきなり投資しないという話も委員長からあった。

委員：町は投資することもできる。具体的には1億、投資するにあたってどう意見があるのかをお聞きしている。

委員：道の駅の要件を最低限満たすだけであれば、トイレ改修の2,770万円のみでよいということか。

事務局：前面道路の交通量による駐車台数の要件もあり、現在の舗装駐車場だ

けでは足りないので、舗装工事も必須要件である。

委員：すると、約6,900万円か。

事務局：道の駅認定の最低要件は満たすが、大型車の受け入れ等を考えると、さらに進入路の変更等も実質的には必要となる。

委員：情報発信スペースは0円となっているがこれは今の建物をそのまま活かすということか。

事務局：そうです。

委員：要は道の駅をすぐやるのか、段階的にやるかを決めてくれということ。

委員：結局リニューアルに1億円かけるなら、最初から道の駅でいいのでは。

事務局：確認だが、道の駅にするのに1億円程度、建物改築も行うとさらにリニューアル費用はかかる。

委員：やった方がいいと思う。もともとは住民のために賑わわせるということだったので、3施設を連携させることも必要。道の駅にただけではなく、盛り上げる仕組みも作っていないと。

委員：整備の前提として「中身がよければ」、と提言でもなっているので、慌てて道の駅にする必要はないのでは。

委員：先に道の駅にしたからといって、中身を改革しないわけではない。

柴み：施設は経年劣化していく。例えばリニューアルして5年後に経年劣化した建物で道の駅をオープンしても、人が来るかどうか。トータルでこうやる、という人が決めないといけない。まずトータルに設計を描かないと。

委員：後でもいいけど、リニューアルと同時にやるのがベターということか。

委員：中身も大事。

委員：当然中身も大事。それ無くしては道の駅への改革はありえない。

委員：道の駅にすれば町民も一度は行くと思う。中身が良ければ2度3度と。

委員：いずれにせよ、にぎわう場所へ変えるということは、道の駅レベルを満たす最低レベルのことはやる。そのうえで、アーケードなど、見た目が変わったと分かるものを作るのが欠かせない。

委員：そういう方向で提言する。

委員：娯楽や遊ぶ場所も欲しいと思っている方もいる。どうせ作るのであれば子供も高齢者も遊べる物も入れてほしい。

委員：「追加して整備するコト・モノ」の優先順位が高いモノとして、簡単な遊具も設ける。

事務局：高齢者が遊べる場所とは？

- 委員：集まれる場所が無いことが問題だと思う。
- 委員：これからは福祉と高齢者と子供が集まれる場所でないといけない。
- 委員：これ以外の資料も提言書には添付するのか。
- 事務局：今までの協議の経過や資料、議事録はホームページにも掲載しており、添付することも可能。
- 委員：道の駅については、提言書案の内容で良いと思う。決定は町長に任せるという形でも。
- 柴み：リニューアルする前に、にぎわい会議での協議があった前提で、担い手になりたい方を全国から募集し、こういったことがやりたいという案を拾い上げる方が先ではないか。作る前に聞いた方がいい。
- また、上伊那全体の道の駅で盛り上げていくのでも良いのではないか。
- 委員：提言するにあたって、提言者の意見をまずは書かないと。
- 委員：道の駅の話はそれで良いのでは。
- 委員：内容が良ければ、道の駅にしてもいいんです、という募集の仕方でも。そういった大きなものがないと、魅力がでない。

#### ○概要版の提言書（A3版）内容確認

- 事務局：内容についてご確認いただき、ご意見を頂きたい。
- 委員：このペーパーは誰が見るのか。
- 事務局：広報みのわの実12月号への掲載。また、今後この会議の成果として様々な場所で提示することになると思う。

(各グループでの意見の出し合い)

- 委員：リニューアル前に担い手として手を挙げる人がいるのか。その人の意見を聞きながら進めては。
- 委員：「一年を通して～収穫体験」とあるが、収穫体験を1年中はできない。播種等も含めた「農業体験」としては。また、3施設の相乗効果を明記しないと。
- 齋藤：運営主体について記載されているから良いと思う。3施設一体でということとは記載が必要。
- 委員：今まで出た意見と同意見。

#### ○終わりに

- 事務局：結局この会議は何を伝えたいのか、全体を通じて、この会議での検討を一言で言ったら何か、ということを考えて来ようと、前回提案があ

ったがどうか。

委員：子供から高齢者までみんなで集える場所。

委員：今、孫の面倒を見るときは、遊ばせる場所も食事ができる大芝高原に行ってしまう。

委員：施設が無くても、人が集まる空間を作ることは可能だと思う。

委員：集える空間、集える場所としてログハウスや古民家風の建屋が必要。

委員：みんなが集える癒しの場所のようになればいいのでは。

委員：「わくわくどきどき」というのは。

委員：何かいいことがありそうだな、ということだね。

委員：初めから検討している通り、みんなが集える場所という事。

とにかく中途半端なことをやってもダメ。

委員：現在の施設でやってくれる人を求める。

委員：箕輪のシンボルとなる場所。親戚等が箕輪町に来たときに、まず連れて行く場所のように町民に愛されている場所。用も足りるし、楽しめるし、箕輪といえば、という場所でないといけないかなと思う。

委員：みんなが集まる場所というのは良いと思う。集まるきっかけがお茶を飲んだり、物を食べたりという箕輪の農を活かした場であってほしい。

委員：自然の優しさが感じられると良い。

委員：果樹園の中を例えば果樹園以外を全部コスモスにしたら綺麗なのではないか。

委員：「ながた」というネーミングは使えないのか。長田温泉はみんな知っていると思う。

委員：町外の方は「みのわ温泉」と呼んでいる方が多いと思う。

事務局：にこりこり帯の地名は。

委員：あそこは山口。

委員：にこりこりに来る生産者から、「キョウイクが大事」・・今日、行くところが大事という話があった。

齋藤：この提言書に意見はまとめられているのでいいのかなと思う。

委員：提言書としてまとめることができ、皆の力はすごいと感じた。

委員：我々の仕事はこれで終わり。

委員：提言書 5 ページに「公社は…適当でない…」とあるが、「適当でない」というのは削除した方がよいのでは。

委員：「適当でない」というのも会議で出した結論なので良いのでは。

委員：意見を取り下げる。

委員：今後の進捗を委員に逐次報告してほしい。

事務局：今後の動きは委員だけでなく広く一般に逐次報告していく。

(委員委員長挨拶)

(白鳥副町長挨拶)

事務局：次回は提言書の提出となる。

提言書提出 11月1日(水) 18:30~  
場 所 箕輪町役場 2階 大会議室